



## サウンド・オブ・グリーン株式会社

代表取締役 **前川 知佐子**さん  
ま え か わ ち さ こ

# 好きなこと、得意なこと、将来性のあることをビジネスに選択、手応えを確かめながら着実に前進!

## 魂 起業家

### <PROFILE>

サウンド・オブ・グリーン株式会社  
■代表者/代表取締役 前川 知佐子  
■所在地/滋賀県大津市栗津町4番7号 石山駅前近江鉄道ビル5階  
■創業/2018年11月  
■事業内容/知的財産権関連調査・コンサルティング、IT関連ソフトウェアの受託開発、Web企画・制作及びIT関連書籍の企画・編集・制作、特許調査ツール販売代理店、ホリスティックヘルス事業  
■URL/<https://www.sound-of-green.com/>  
■兼任/職業訓練法人 日本技能教育開発センター講師  
<https://www.jtex.ac.jp/products/detail/143>

保有する知的財産を適切に評価したい。それにより事業の成長性を予測するなど、知財情報を経営に生かしたい——独立・開業し、企業の潜在的ニーズに応えるコンサルティング業務に従事している前川さん。現在は、特許価値評価ツール導入の提案に加えて企業ごとのカスタマイズや新ツールの開発に注力。前川さんの提案に耳を傾け、契約に至る企業は確実に増えている。

### ■事業内容は?

企業の知的財産(以下、知財)情報やその管理に関し、特許調査や評価ツールの導入のお手伝いや、お客さま保有のシステムとの機能連携開発を行っている会社です。知財自体は昔からあるものですが、現在は、それを経営にどう生かすのかという視点で企業自身が分析や調査をする時代となりました。弊社は、そうした企業に役立つ情報を提供し、知財を分析・評価するお手伝いをします。

### ■なぜ起業しようと思った?

一番に、自身の生活環境の変



### ■産業支援プラザとの関わりは?

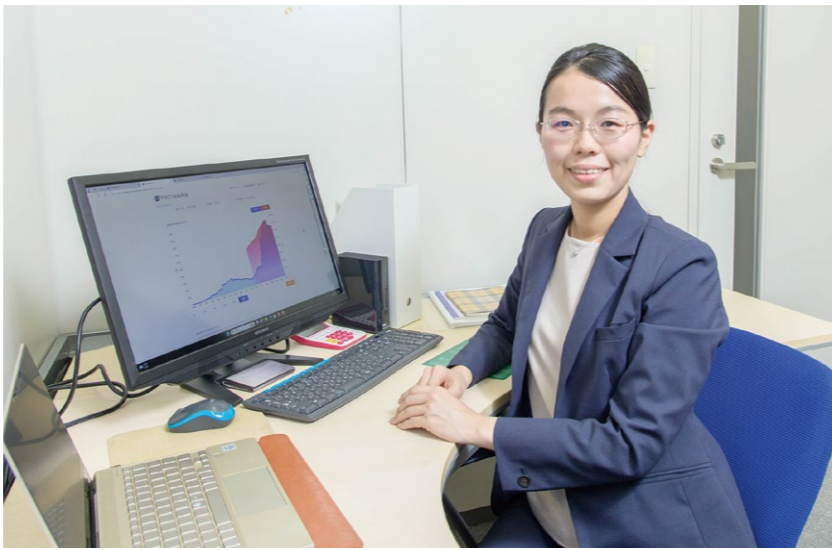
2018年11月に、創業オフィスへ入居しました。先述のような理由で起業を検討し始めて調べてみると、滋賀県にこのような施設があることを知り、足を運んでいろいろお話を聞きましました。担当者として伴走してくださるインキュベーション・マネジャーの存在が非常に心強いと感じ、入居を決めました。

### ■入居のメリットは?

産業支援プラザが媒介となり、多くの出会いを得られたことが最大のメリットですね。「創業オフィス」の入居者どうしの交流はもちろんです。産支プラザで開催されるセミナーなどには、滋賀県内だけでなく他府県からも聴講者が来られます。そうした際に幅広い分野のビジネスパーソンやスペシャリストと名刺交換をしましたが、それをきっかけに協力関係を築いたケースも少なくないのです。

### ■産業支援プラザから受けた具体的な支援は?

大きく助けられたのはやはり補助金関係です。申請書類の作成というのは、苦手な者にはこれほど難しいことはありませんが、とても丁寧にアドバイスをくださいました。それは、サウンド・オブ・グリーンが、知財情報の管理や評価ツールの開発について非常に深く理解くださっているからこそなのです。書類上の表現ひとつにしてもよく知ってくださっているとわかります。



また、普段の業務において交際に行き詰まった時や、新しい企画提案へのもうひと押しに悩んでいる時にも、内容をよく理解したうえで的確な助言をくださいました。

### ■サウンド・オブ・グリーン株式会社の強みは?

近年、企業では、知的財産権の情報を分析し、その結果を経

営戦略の策定や企業の意思決定のために活用するといった動きが活発化しており、重要度も増しています。アクロソフト株式会社と工藤一郎国際特許事務所が共同開発した特許価値評価ツールPATWARE(パットウェア)導入を推奨し、経営に生かすための情報を提供しています。

特許など知財は無形資産に該当します。つまり目に見えない技術情報なので、正確に評価することは難しいのですが、2021年にコーポレートガバナンス・コードの改訂が東京証券取引所から公表されました。どういふことかと言うと、企業に知財情報開示が義務づけられたのです。知財情報も、きちんと

と経済的な意義を持つ指標を示して、株主総会など企業が経済活動報告をする機会には適切に報告しようという方針に改訂されたのです。

以来、企業からの問い合わせが増えました。評価ツールPATWAREは客観的な手法で分析・評価し、結果を視覚化します。ツールの価値が認識され、必要とされていることに手応えを感じています。

### ■今後の展望は?

とくに力を入れているのは、顧客が使いやすいようにツールをカスタマイズすることです。知財について企業がどう考えているのか、どう使おうとしているのかは、企業によって異なります。同企業内でも研究開発部の考え方と知財部の考え方は違うでしょうし、また企画部や経営層の考え方も、実務において異なる部分があると考えています。各企業、各部門にヒアリングをして、こういう機能がツールに欲しい、といった要望をしっかりとらえ、カスタマイズの提案をしていきます。

同時に、JTEX(日本技能

教育開発センター)の講師も務めているので、知財が大切だということ伝えていきたいです。

### ■起業を目指す人にアドバイス

起業する前も後も、迷うことが多いと思います。でも、迷うことを拒まないでと言いたいです。目の前には起業のことであれ、私生活のことであれ、必ずやるべきことがありますから、迷いながらもそれらを着実にこなしていく。そのプロセスで、先輩ビジネスパーソンや専門家の助言を得る場をもつようにするとよいと思います。そのためにも積極的に、産業支援プラザに足を運んでください。ただ担当の方と話をするだけでも、ヒントを得たり、ひらめいたりすることがあります。私もそんなことを繰り返して、絶対大丈夫と念じながら、現在に至っています。



\* 創業プラザ滋賀(創業オフィス) インキュベーション・マネジャー等の専門家による各種支援を組み合わせ、継続的に支援を実施している。(4つの異なるインキュベーション施設があり、創業オフィスは新事業創出に挑戦する方向けのオフィス)